

令和元年度 東京都小笠原ビジターセンター 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価			評価理由
					2点	1点	0点	
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか						
		施設維持及び案内に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃・保守点検及び巡回を計画に基づき適切に行った。 ・ビジターセンターへの入り口が分かりにくいという声を受け、小笠原にちなんだイラストのアイキャッチャーを設置し、入り口への動線を明示し、案内の充実を努めた。 ・清掃は週1回以上、保守点検も月1回以上行っている。
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置及び利用者の平等利用への取組について、特に不適切な点はなかった。 	
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか						
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・震災対応訓練やAED操作訓練のほか、IP無線による通信訓練を実施し、職員の意識を高めるとともに緊急時の対応体制を維持した。 ・台風や強風・大雨の際には、事故防止に向けた注意喚起等が適切になされたほか、事後の施設点検を速やかにを行い報告も迅速・適切であった。
	緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・5度の台風襲来時には、通路の封鎖、潮位への対策、倒木処理等を迅速に行い、利用者の安全確保を適切に行った。 	
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか						
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・本社担当部署と情報セキュリティ対策に関する情報提供を行い、適切に対応した。 ・情報セキュリティを確実に保護するため、個人情報保護研修やOJT等で職員の継続的啓発活動に取り組んだ。
	環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法はじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・小笠原の昆虫・海中生物に関する講演会の開催や、島内各専門機関との連携によるオガサワラオオコウモリ、アオウミガメ、アカガシラカラスバト等の固有種の保全活動を着実に実施した。 	
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか						
収支・財産管理の状況		<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか。) ○適切な経理処理 ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○所有財産(物品など)の適切な管理 ・物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・総経費(20,404,043円)は対計画額費(20,521,000円)99.4%とおおむね適切であった。 ・経理処理及び所有財産管理において不適切な事項はなかった。 	

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価			
					水準を上回る 2点 / 概ね水準どおり 1点 / 水準を下回る 0点			
					2点	1点	0点	評価理由
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。						
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1		○		・年間入館者数、対前年度比については、別紙のとおり。 ・令和元年度は来館者数が伸び悩んだが、背景として、前年度に返還50周年記念行事のため来島者が増えた反動で今年度は来島者数自体が減少したこと、例年より多く発生した台風及び新型コロナウイルス感染症予防によるイベント中止・休館措置をとったこと等の外的要因の影響があったことを考慮した。
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1		○		・アンケートの回収枚数、対前年度比については、別紙のとおり。 ・アンケート調査により利用者ニーズの把握に努め、更なる利用者サービス向上につなげた。	
	サービス内容の向上等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。						
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2		○		・自然教室、講演会等の開催数、参加人数、それぞれの対前年度比については、別紙のとおり。 ・南硫黄島シンポジウムは島民を中心に高い関心が集まり好評を得た。 ・台風及び新型コロナウイルス感染症予防により開催率や参加者数は伸び悩んだ。一方で、台風で帰りの便が欠航となり行き場を失った来島者を対象に急遽自然教室を実施し、子ども連れ客を中心に多くの参加を得る等、来島者のニーズに応じた臨機応変な対応により来島者の満足度向上に貢献した。
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1		○		・総合満足度をはじめ、各種項目において、常に高い満足度水準を維持している。 ・令和元年度:99.7%(有効回答614人) 内訳:「とても満足」68.5%(421人) 「満足」31.2%(192人)
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2			○	・オフシーズンの利用者数及び対前年度比は別紙のとおり。 ・イベントは年間を通じて実施しているが、オフシーズンの利用者数を増加させるために、イベントの内容のさらなる充実を期待する。
	○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。		×2			○	・磁気メモボード、ホワイトボードを活用した説明、手話を交えた解説や英語での解説も実施し、知覚・聴覚障がい者や外国人等、幅広い利用者の利便性向上につながった。	

		施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効率的・効果的な実施 (HPの訪問者数、SNSのフォロー数、出張授業数など)	×2	○		<ul style="list-style-type: none"> ・島内100箇所以上の宿泊施設や観光案内施設、店舗等にニュースレターやイベント、ビジターセンター開催の特別展案内等の掲示・配布を行った。 ・新宿御苑におけるイベントに出展し、積極的にビジターセンターの特別展やイベント案内・見所等を紹介しPRを行った。 ・小笠原の特性や自然に関し、継続して平日に毎日ツイートを投稿し、従来より広範囲に公園の魅力を伝えることが出来た。 ・台風発生時の気象情報や新型コロナウイルス感染症予防に伴う施設の閉館情報など、非常時において効果的に情報発信を行うことが出来た。 ・新たに、おがさわら丸の船内でA1サイズのビジターセンター紹介ポスターの掲示を行い、多くの乗船客へ広報を行った。
		地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び都の施策への協力	×2	○		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を図り、アオウミガメ、アカガシラカラスバト等の保全に関する取組を行った。 ・園内でのアカガシラカラスバトの目撃情報が増えるなど、希少動物の生息環境向上に貢献している。 ・秋田県の水族館にビジターセンター展示品のアフリカマイマイを貸し出す等、新たな連携を図った。
			○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施	×2	○		<ul style="list-style-type: none"> 「南洋踊り体験」「ウクレレで唄う小笠原古謡教室」といった伝統文化の保存・普及に向けた活動を地域の保存会を迎えて行ったほか、島内在住の書道師範による「書初め会」の実施等、地域行事を生かしたイベントを実施し、好評を得た。
		業務効率化の取組	○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等	×1	○		<ul style="list-style-type: none"> ・経費実績では予算額の満額執行となっているが、経費削減については、新たな取組の実施が期待される。
		人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、・接遇等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	×1	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修やOJTを通じ、事故・災害対応、接遇技術の向上及び動植物に関する知識の習得等を図った。

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」(達成度:おおむね90%未満))。
 ※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。
 ※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評定を行う。
 「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)
 「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上)-1」点以下)
 「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点以下)
 「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)
 ※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評定は「C」とする。

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 自然教室参加者数が対前年度比で増加し、参加者からも高い満足度を得た。特に南硫黄島のシンポジウムについては、島民の高い関心を得て好評だった。 おがさわら丸での大判ポスターでの広報活動など、新たな取組が見られた。 令和元年度は台風の多発やコロナウイルスの影響など、利用者数の落ち込みが見られた。 地元住民からの来館を促すような取組・工夫が必要。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	27	評価	B	標準点	評価基準			
					S	A	B	C
				24点	32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	令和元年度決算書の財務分析から、事業の遂行能力、適応能力、財務体質の健全性について特に大きな問題があるとは認められない。
------------	--

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	
---------	--

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されていない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
	<評価理由>		

令和元年度 東京都立小峰公園 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか						
		施設維持及び案内等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃は週3回程度実施されている。 ・施設の保守点検は少なくとも月1回程度は行われている。 ・来園者の安全性・快適性を確保するため、施設や自然の特性に合わせた適格な点検・清掃等を実施し、適切に公園環境を維持した。 ・園内施設の補修を直営で行った。具体的には、杉の木広場に設置されている落ち葉溜めについて、汚損や腐朽が進行していることから、園内の作業時に発生した伐採竹や樹木の剪定材・廃材等を活用して補修を行った。
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づき、自然学習に関する知識・経験が豊富な職員を配置した。 ・運営管理及び維持管理を本社及びブロックがサポートし、業務の効率化を図った。 ・利用者の平等利用について、特に不適切な点はなかった。 	
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか						
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・日常の施設点検や巡回において異常を確認した場合は、迅速な改善を行う等、事故の未然防止を図った。 ・消防訓練として、消火・通報・避難訓練等を実施した。
	緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・台風による土砂の流入に対し、直営にて除去・水路清掃作業をした。 また、雨天時にぬかるんで水たまりが出来やすい遊具周辺などの園地整備を行った。 ・マムシ、スズメバチへの注意喚起を行うなど、事故の未然防止に努めた。 ・あきる野市の防災行政無線用戸別受信機を設置したことにより、発災時等に直接市からの情報受信が可能となり、来園者等に正確な情報提供を行う体制が整備された。 	
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか						
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・公園協会の情報セキュリティのルールに基づき、適切に管理した。
	環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法をはじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・植生調査結果等に基づき「選択的除草マニュアル」を更新し、外来種の駆除や保全すべき植物の適切な管理を行った。 ・都への報告・連絡を適宜適切に行った。 	
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか						
収支・財産管理の状況		<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか。) ○適切な経理処理 ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○所有財産(物品など)の適切な管理 ・物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・総経費(31,534,138円)は対計画額費99.7%とおおむね適切であった。 ・経理処理及び所有財産管理において不適切な事項はなかった。 	

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由	
					2点	1点	0点		
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。							
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1		○		・利用者数・対前年度比については別紙のとおり。	
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1	○			・アンケート回収数・対前年度比については別紙のとおり。 ・声掛けや、ノベルティとしてポストカードを20種作成し配布するなど、様々な工夫によりアンケート回収率を高め、利用者ニーズについて多くの声を聴くことができた。		
	サービス内容の向上等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。							
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特徴及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2		○		・自然教室等の企画数・実施数・参加者数・対前年度比については別紙のとおり。 ・これまで開催してきた里山ミニ教室の発展型として、里山の四季の魅力を提供するプログラムを3回計画・実施し満足率100%を確保した。	
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1	○			・令和元年度:99.7%(有効回答288人) 内訳:「とても満足」68.4%(197人) 「満足」31.3%(90人) 「やや不満」0.3%(1人)	
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2	○			・オフシーズンの利用者数については別紙のとおり。 ・12月に新イベント「里山のめぐみでリースづくり！」を開催し、オフシーズンの利用を促すように努めた。	
			○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	×2	○			・利用者ニーズに基づき自動販売機を設置した。計画113,900円に対し、350,720円(計画比307%)を売り上げ、また地元農産物の販売も実施し好評であった。 ・障がい者向け企画や企業のCSR推進との連携、NPOとの共催など多様なニーズに応じて様々なイベントを企画実施した。 ・地元の高中生や中学生の就業体験を受け入れ、あきる野市の自然と文化を体験してもらったことにより、小峰公園と地元市の魅力を若い世代へ伝えることができた。	
		施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効果的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロワー数、出張授業数など)	×2		○		・令和元年度もレンジャーブログ等のWEBサイト更新を76回行い多岐にわたる情報を発信した(訪問者人数38,949人 令和元年度)。 ・ツイッターを98件投稿し、自然情報やイベントなどリアルタイムな情報提供を行った。フォロワー数は、対前年度比115%の890人となった。 ・各種出版社やマスコミ等イベントなどの情報掲載依頼やあきる野市・JR・観光施設等と連携し、有意義な広報活動が実現した。	
		地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び市の施策への協力	×2		○		・これまで充実を図ってきた「小峰型ボランティア」の活動を推進しながら主体的な活動の機会を増やした。ボランティア主催のイベントに関しては、従来どおりイベントサポートを行う活動を継続した。	
			○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施	×2		○		・あきる野市からの依頼を受け、森の幼稚園園会へ農業・自然体験プログラムの提供を行った。 また、地元の漁業協同組合の協力を得て、秋川に生息する代表的な魚類の飼育展示を行った。	
	業務効率化の取組	○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等	×1		○		・職員の適切なシフト管理、エリア別の計画的な維持管理作業などにより、業務を効率的に推進した。 ・発生材を施設等の補修材に活用し、材料費・人件費などの経費削減を図った。		
人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、接遇等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	×1		○		・計画に基づき適切に行った。 ・安全衛生講習会や維持管理研修など業務に関連した研修等に参加し、技術の向上に努めた。			

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」、「水準を下回る」(達成度:おおむね90%未満))。
 ※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。
 ※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評価を行う。
 「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)
 「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上)－1」点以下)
 「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)＋1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点以下)
 「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)
 ※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、
 ②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評価は「C」とする。

特記事項	【努力が認められる点】 昨年度オフシーズンの取組が乏しかったが、今年度では「里山のめぐみでリースづくり！」を開催するなど新たな取組を行うことでオフシーズンの利用促進に努めた。 【一層の取組が望まれる点】 オフシーズンの利用者数の増加は未だ乏しいため、更なる取組を行い、利用促進に努める。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	30	評価	A	標準点	評価基準			
					S	A	B	C
				24点	32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	令和元年度決算書の財務分析から、事業の遂行能力、適応能力、財務体質の健全性について特に大きな問題があるとは認められない。
------------	--

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	
---------	--

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されていない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
	<評価理由>		

令和元年度 東京都立奥多摩VC 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由	
					2点	1点	0点		
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか							
		施設維持及び案内に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 -施設の清掃(週1回以上) -施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1			○	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃及び保守点検を計画どおり適切に行なった。(清掃は週2回程度実施、保守点検は月1回以上実施) ・スタッフが日常的に安全点検を行い、リスクの早期発見に努め、発見したリスクを解消するための速やかな補修・改修等を実施した。 	
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1			○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づき、自然学習に関する知識・経験が豊富な職員を配置した。 ・利用者の平等利用について、特に不適切な点は見受けられなかった。 		
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか							
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 -避難訓練等の実施(年1回以上) -連絡体制の整備 	×1			○	<ul style="list-style-type: none"> ・台風や大雨、降雪の際は、HP等を通して利用者への開館情報の事前告知や、事後の施設点検等、適切な対応を行った。 ・職員個人の携帯電話を使用した安否確認メール送受信訓練や防災保管庫の点検を毎月実施した。 ・勤務時間内発災対応訓練や勤務時間外震災対応訓練(早期参集・初動対応訓練)を実施した。 ・管内における火災報知器の仕組み、非常口及び消火器の位置確認等の自衛消防訓練を実施した。 ・防火・防災意識向上のためビジターセンターに所在する3施設による合同訓練を実施した。 	
		緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 -発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 -積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1			○	<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号の影響による通行止めや断水等について、奥多摩エリア内の様々な組織・団体と連携して情報収集を行うとともに、来館者への呼びかけや電話対応で注意喚起を行い、利用者の安全確保に努めた。 ・登山道での倒木、波面崩壊等、利用者の安全にかかわる案件を中心に、管理者に報告し、登山者の安全確保に務めた。 	
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか							
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1			○	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や文書管理・情報セキュリティに関する事故防止を徹底し、職員への研修を定期的実施した。 ・令和元年度は事故はなかった。 	
			環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法はじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1			○	<ul style="list-style-type: none"> ・展示物材料のリサイクル、リユースを実施した。 ・職員による日々の省エネ行動を徹底し、施設のエネルギー消費量の削減に努めた。 ・ごみ持ち帰り用のごみ袋を配布する等、自然公園でのごみ持ち帰り運動を推進した。 ・都への報告・連絡を適宜行っており、適切であった。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか							
収支・財産管理の状況		<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか。) ○適切な経理処理 -経理の明確な区分 -帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○都有財産(物品など)の適切な管理 -物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間) 	×1			○	<ul style="list-style-type: none"> ・総経費(計画20,895,000円、実績20,808,247円)は対計画額費99.6%とおおむね適切であった。 ・経理処理及び都有財産管理において不適切な事項はなかった。 		

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
事業 効果	利用の 状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。						
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1			○	・利用者数・対前年度比については別紙のとおり。
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1	○			・アンケート回収実績については別紙のとおり。 ・過年度に引き続き、近隣観光施設にアンケートボックスを設置し、情報収集を実施するとともに、都心部イベントでのアンケート、来館者・イベント参加者へのアンケートを継続実施した。 ・要望内容及び対応結果をビジターセンター内に掲示し、利用者との相互理解と施設のPRにつなげた。	
	サービス 内容の向上 等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。						
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2		○		・自然教室イベント等の企画数・実施数・参加者数・対前年度比については別紙のとおり。 ・安全登山の知識及び技術を学ぶ、「奥多摩登山塾」を3回実施、過年度より継続している講座内容の充実に加え、新たに、利用者ニーズを反映した実践的企画を実施。 ・窓口及び電話の問合せに対し、利用者のレベルに応じたきめ細かな安全登山のための提案を行う。館内での情報提供5,346件、電話での情報提供3,900件(H30年度 8,661件 対前年比61.7%、H30年度 3,192件 対前年比122.2%)。
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1	○			・令和元年度:100%(有効回答308人) 内訳:「とても満足」75.6%(233人) 「満足」24.4%(75人)
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2		○		・自然教室として、冬季の自然散策プログラムを実施。
		○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	×2		○		・実踏調査を71回実施(前年度比18回減)し、奥多摩地域の自然情報・登山道情報等を収集・蓄積するとともに、セルフガイド、ホームページ、窓口の情報ボードでの掲示等により活用した。 ・利用者からの需要が多い情報をホームページから発信(ツキノワグマ目撃情報(91回)、登山道・道路情報(49回)、紅葉・積雪を含む自然情報(10回)等)するとともに、「登山の心得」、セルフガイドツール「奥多摩を歩こう」を配信し、安全登山啓発を行った。 ・山岳情報、自然情報の展示の更新とコーナーの新設、参加体験型展示(ハンズオン展示)の充実を図った。 ・既存「奥多摩情報地図(手作りマップ)」への観光情報、安全情報の付加。	
	施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効率的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロワー数、出張授業数など)	×2	○			・HPアクセス数 314,006件(H30年度 220,738 対前年比142%) ・登山用品店内での登山道・道路状況の掲示、ビジターセンターリーフレットの設置・配布を継続し、情報提供を行った。 ・奥多摩駅周辺トイレマップ及び奥多摩駅前登山届提出所の「駅前情報板」によるPRのほか、奥多摩観光案内所、西東京バス奥多摩駅バス停、駅前公衆トイレにポスターを掲出。 ・利用実績のある小中学校へ、ビジターセンターで実施可能な自然環境プログラムの紹介。 ・山と渓谷社やモリタウンアウトドアヴィレッジ等と連携し、当該企業ホームページによる情報提供の一層の充実。 ・都心部でのイベントへの出展、活動報告の発表、公開講座の開催によるPR。	

		<p>地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組</p>	<p>○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び都の施策への協力</p>	<p>× 2</p>		<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奥多摩地域をフィールドとする自然環境・教育関係等諸施設の情報交換を実施し、ビジターセンターの取組を共有し交流を深めた。 ・施設交流会から生まれた連携等により、地域の魅力に触れ、かつ自然保護・保全意識の醸成につながるようなプログラムを実施した。 ・東京都レンジャーとの連携による、日常的な情報共有、山岳遭難防止キャンペーンや合同実地調査を実施した。
			<p>○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施</p>	<p>× 2</p>		<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奥多摩及び日の出山の山開き式への参加、連携による奥多摩駅前山岳遭難防止キャンペーンの実施、奥多摩アート・クラフトフェスティバル会議に出席し、地域の一人として積極的に協力を行った。 ・奥多摩花火大会開催日の夜間開館を継続実施し、多くの観光客へ奥多摩の魅力等の幅広いPRを行った。

		業務効率化の取組	○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等	×1		○	・本組織が、技術的・専門的な支援を行ったことで、設備の維持管理について知見を得ることができ、不具合について迅速に対応することができた。 ・公園協会と協力関係にある専門業者と協定を結び、優先的・迅速に業務を実施できるシステムを構築する等、作業効率化に向けた取組を実施。
		人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、・接遇等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	×1		○	・日常的なOJT等により、接遇スキルの向上を図った。 ・職員の悉皆研修を定期的実施し、コンプライアンスの遵守を徹底した。 ・応急手当として心肺蘇生、AED操作、搬送方法等の知識・スキルを有する上級救命技能認定を受けた職員を配置した。

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」、「水準を下回る」(達成度:おおむね90%未満))。

※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。

※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評定を行う。

「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)

「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上)－1」点以下)

「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)＋1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点以下)

「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)

※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評定は「C」とする。

特記事項	・奥多摩駅周辺での掲示や、都心でのイベント出展など、奥多摩町の内外を問わず、精力的に広報活動を行っている。 ・利用者からの要望の強いツキノフグマの目撃情報や登山情報、紅葉情報などをホームページで高頻度で発信し、アクセス数は昨年度から大幅に伸びた。 ・利用者アンケートの回収数を大幅に伸ばし、要望の内容をセンター内に掲示することで利用者との対話を図っている。 ・登山初心者向けのイベントなどをより充実させることに期待したい。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	27	評価	B			
		標準点				
			評価基準			
			S	A	B	C
		24点	32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	令和元年度決算書の財務分析から、事業の遂行能力、適応能力、財務体質の健全性について特に大きな問題があるとは認められない。
------------	--

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	
---------	--

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されていない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
<評価理由>			

令和元年度 檜原都民の森 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか						
		施設維持及び案内等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1	○			<ul style="list-style-type: none"> ・清掃(週1回以上)、施設保守点検(月1回以上)、警備などについて、事業計画書に基づき、適切に実施した。 ・安全点検マニュアルに基づき年5回の総合点検を行い、劣化度に応じて修繕を順次実施した。 ・施設の補修修繕については、軽微な修繕を職員が実施するなど施設の維持管理に積極的に取り組んだ。 ・必要な箇所に案内表示を追加設置し、利用者の利便性を向上させた。 ・外国人の方の来園者への対応力向上のために翻訳機を購入し、それを利用して実際に外国人の方の対応を行った。
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・業務上必要な配置数や配置箇所は適切であり、また地元へ精通した職員を配置した。 ・年休や夏休の積極的な取得を呼び掛けた。 ・イベント参加者を抽選で選定する等、利用者の平等利用について、特に不適切な点はなかった。 	
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか						
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・消防署員の指導による防災訓練を、正規職員の他、アルバイト、委託業者等関係者全員が参加の上実施した(年1回)。 また、消防署職員による救命救急訓練を実施し、迅速に事故対応が行えるよう対応力の強化を図った。 ・緊急連絡体制を整備し、運用した。
	緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・事故報告や台風19号、新型コロナウイルス等への対応において、発生時には迅速に都への連絡を行い調整を図った。 ・天候情報や道路情報等を随時確認し、適宜利用者への情報発信を行った。 ・暴風雪雨後には、速やかに職員全員で園内を点検・危険箇所の確認等を行った。危険箇所が発見された場合には、直ちに原状回復を図るとともに、必要に応じて通行止め等の措置をし、来園者の安全確保に努めた。 	
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか						
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員に注意事項等や情報事故の事例を用いて、事故防止の周知徹底を図り、個人情報の保護に努めた。 ・個人情報の漏洩や個人データの紛失事故等の発生は無かった。 ・イベント時には、必要最低限の情報を持ち出す等名簿の管理を適切に行った。
	環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法をはじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1	○			<ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車(送迎車ほか)の導入や、再生可能エネルギー由来の電力の利用等環境配慮に努めた。 ・電気自動車用の充電設備の設置に協力した。 ・間伐材でベンチを製作した。 ・シカの生態系被害を抑制するため、ネット張りを行った。 ・都への報告・連絡を適宜適切に行った。 	
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか						
収支・財産管理の状況		<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか。) ○適切な経理処理 ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○都有財産(物品など)の適切な管理 ・物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・総経費(122,728,000円)は対計画額を下回り、計画額比94%と適切であった。 ・檜原村の特別会計による経理の明確な区分及び帳簿・関係書類を整備、保存した(5年間)。 ・物品賃借契約書に基づき適正な報告を行った。 	

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。						
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1			○	・利用者数・対前年度比については別紙のとおり。 ・対前年度比減であるが台風や新型コロナウイルス感染拡大防止に係る休園措置等による影響が大きい。
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1			○	・アンケート回収数・対前年度比については別紙のとおり。 ・来園者からの苦情等への対応状況は、HP上で公表するほか都民の森内にも掲示した。 ・イベント参加者以外の意見が収集できるよう、建物内3か所に意見箱を設置し、アンケート内容は職員全員で共有した。 ・利用者からの要望のあったもの(木工教室「キッズデスク」、自然教室「シダ類の観察ガイド」等)を来年度の新規イベントに組み込む等改善を図った。	
	サービス内容の向上等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。						
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2			○	・自然教室イベントの企画数・実施数・来園者数・対前年度比については、別紙のとおり。 ・山の日イベントにおいて、講師を招いたボルダリング体験等新たな取組を実施し、前年度参加者1,098人から今年度2,419名へ大幅に増加した。
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1		○		・令和元年度99.3%(有効回答1,079人中1,079人) 内訳:「とても満足」76.8%(901人) 「満足」22.5%(243人) (平成30年度99.7%、有効回答1,126人中1,126人)
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2			○	・オフシーズンの利用者数・対前年度比については別紙のとおり。 ・オフシーズン(冬季)は、冬鳥観察や冬の星座観察、クリスマスリース作りなど季節に応じた人気のあるイベントを企画し、実施した。 ・温泉センター数馬の湯と連携し、送迎サービスを行っているが、特にバスの冬季の運行休止期間中は、駐車場の待機数を増やすよう依頼する等強化を図った。
			○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	×2			○	・高齢者・障害者対応として、車椅子、電動車椅子の貸出、駐車場から管理事務所まで車の送迎を継続して実施した。 また、森林館にスロープを新たに設置した。 ・登山靴、熊よけ鈴の貸出を行い、気軽に利用できるサービスを提供を実施した。 ・外国人利用者へのサービス向上を目的とし、翻訳機を導入した。
		施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効率的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロワー数、出張授業数など)	×2		○		・HPの閲覧履歴を戦略的に分析し、希少動植物の情報や野鳥、その他アクセスの多い情報を積極的に発信する等効果的なPRを行っている。 ・HPアクセス数が対前年比11.7%増加(平成30年度142,562、令和元年度159,210) ・フェイスブックの更新を年間240回行い、旬の情報を逃さない発信や閲覧者を飽きさせない工夫を行い、最新の情報を発信した。
	地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び都の施策への協力	×2			○	・山のふるさと村・奥多摩都民の森と合同で宿泊イベントを開催した。 ・温泉センター数馬の湯の割引券を設置するとともに、温泉センターの送迎車が、都民の森と温泉センター間を運行するなど連携を図った。 ・環境局事業の電気自動車用充電設備の設置や再生可能エネルギー100%のFIT電力の供給先として協力を行った。	

			○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施	× 2		○	<ul style="list-style-type: none"> ・数馬地区の宿泊施設に働きかけ、地元産のわさびを使った、わさび漬けづくり体験、炭焼き体験教室を行うとともに、レストラン等においても地元食材を使用するなど地産地消に取り組んだ。 ・数馬地区との合同イベントや檜原村で取れるおかめ笹を使った竹かご作りのイベントを開催し、好評を得ている。
		業務効率化の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等 	× 1		○	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催時のボランティアの活用、園内掲示板等をレーザー加工機により自ら作成するなど、経費削減を図っている。
		人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、・接遇等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	× 1		○	<ul style="list-style-type: none"> ・環境局や村主催の研修に参加し、指定管理業務に必要なノウハウの習得に努めた。 ・奥多摩自然保護事務所のアクティブレンジャーから自然公園法等の知識や情報を得て、法令遵守を徹底した。

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」、「水準を下回る」(達成度:おおむね90%未満))。
 ※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。
 ※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評定を行う。
 「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)
 「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上) - 1」点以下)
 「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨) + 1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上) - 1」点以下)
 「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)
 ※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、
 ②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評定は「C」とする。

特記事項	<p>【特に評価すべき点や、特筆すべき成果(「S」評価の場合は必ず記入)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP及びフェイスブックの更新を頻繁に行い、利用者へのPRを積極的に行っていた。写真や動画を多用するとともに、イベントの募集にも活用し、広く呼び掛けることができていた。 ・数馬地区の宿泊施設に働きかけ、地元産の食材を使ったわさび漬づくり体験、炭焼き教室を行うとともに、レストラン等においても地元食材を使用するなど地産地消に取り組んだ。 <p>【努力が認められる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新企画イベントを企画するなど様々な利用者層へのアプローチを実施している。 <p>【一層の取組が望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の伝統的な暮らし方や檜原村の特徴的な産業のあり方についても来訪者が触れたり体験できるような自然教室・展示等を、一層検討していただきたい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風19号によるアクセス路の被害や新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイベント休止・休園措置があり、利用者数・イベント実施回数は減となった。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	30	評価	A
-----	-----------	----	----------

標準点	評価基準			
	S	A	B	C
24点	32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	地方公共団体のため、特段の問題なし
------------	-------------------

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害及び事故等の際、迅速かつ柔軟な対応が不可欠な地元関係機関との連携を効率的に行っている。 ・地域の資源及び人材を活用した体験サービス等を提供している。 ・安定した経営基盤による継続的な運用を行っている。
---------	---

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されていない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
<評価理由>			

令和元年度 東京都立大島公園海のふるさと村 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
管理 状況	適切な管理 の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか						
		施設維持及び案内等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検等は適切に実施されている。 ・また、軽微な修繕等については、職員のできる範囲で継続的に行われている。 ・さらに、R1.5月報告書によると、利用者からの要望に応え、パンフレットコーナーの充実を図っている。ショーケースを活用し、自然教室の成果物を同時に展示するプランを検討する等、より良い案内・表示に積極的に取り組んでいる。
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置及び利用者の平等利用について、特に不適切な点はなかった。 	
	安全性の 確保	施設の安全性は確保されているか						
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・土砂流出対策として排水ルートの新規整備や土砂止の張芝、あるいは雨天時の対策としてテントデッキやビニールハウスの整備等、施設の改良を提案し、積極的に取り組んでいる。 ・令和元年台風第15号による被害から、今後の災害対応について、事例研究を行い、自然災害時の利用者の安全性確保に積極的に取り組んでいる。
	緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における確で速やかな対応、利用者の安全確保 ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・台風等による大雨等警報発令により、災害の発生が見込まれる場合に、迅速かつ適切に安全確保策を講じている。 	
	法令等の 遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか						
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊者名簿等の個人情報は、施錠できる書庫で保管する等、適切に対応し、事故等も発生させていない。
	環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法をはじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設から発生するゴミの分別を徹底する等、環境保護に配慮している。 ・自然公園法等各種法令等の遵守や都への報告についても特に不適切な点はなかった。 	
	適切な財務・ 財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか						
収支・財産管理の状況		<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか。) ○適切な経理処理 ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○都有財産(物品など)の適切な管理 ・物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・総経費:64,627,550円、必要経費57,290,450円は対計画額費107.3%、111.5%とおおむね適切であった。 ・新型コロナウイルスの影響により、施設を閉鎖せざるを得ない中、概ね適切であった。 ・都有財産の管理や帳簿等の整備・保存について、特に不適切な点はなかった。 	

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由	
					2点	1点	0点		
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。							
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1		○		・利用者数・対前年度比は別紙のとおり。	
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1		○		・アンケート回収数については、別紙のとおり。 ・アンケート回収数は、台風災害や新型コロナウイルスの影響もあり、前年度の3分の1程度となっている。		
	サービス内容の向上等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。							
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2		○		・自然教室イベントの企画数・実施数・参加者数・各対前年度比については、別紙のとおり。 ・親子で楽しめる体験や日帰りイベント等を充実させ、集客を図っている。 ・キャンプ道具等を充実させ、新たな利用者の発掘に取り組んでいる。 ・電話・窓口対応等についても特に不適切な点はなかった。	
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1		○		・自然教室参加者へのアンケート調査では、「とても満足」、「満足」の合計が100%だった。	
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2			○	・オフシーズンの利用者数・対前年度比については別紙のとおり。 ・台風によって中止したイベントの代替措置としてお正月イベントを実施する等の今までにない発想で、次年度以降も集客が見込める新たなイベントを企画・実施した。	
			○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	×2			○	・船便の時刻表や路線バスのダイヤ等をロビーに掲載する等、島しょ特有の交通事情に配慮した取組を行っている。 ・長年更新されていなかったパンフレットについて、職員が1からデータを作成し、更新した。 ・今まで利用者からの要望があった自然研究ルートマップについても、職員が自ら現地調査し、新たにデータから作成した。	
		施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効率的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロワー数、出張授業数など)	×2			○	・公式ホームページやSNSを適切に更新するとともに、大島町観光課と協力し、伊豆大島夏のポスターに海のふるさと村が採用される等、効果的な広報活動を行った。	
		地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び都の施策への協力	×2				○	・地元の小学校・中学校が企画するキャンプ体験や校外学習に全面的に協力している。
			○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施	×2				○	・地元食材・素材を使用した自然教室を企画する等、島の資源を活用した取組を行っている。
	業務効率化の取組	○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等	×1				○	・委託契約の集約や職員による修繕対応等により、経費の削減に努めている。	
	人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、・接遇等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	×1				○	・大島町役場主催の職員研修に参加する等、施設運営に必要なスキル及び自己啓発の促進を図っている。	

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」(達成度:おおむね90%未満))。
 ※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。
 ※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評定を行う。
 「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)
 「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以下)
 「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点以下)
 「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)
 ※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、
 ②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評定は「C」とする。

特記事項	【評価すべき点】 鳥しょの限られた資源や施設の現状を的確に捉えて、すぐに着手できる事項に積極的に対応している。 また、新しい発想で、集客が望めるイベントの企画やキャンプ道具の充実を図る等、新規利用者の増加に向けて取り組んでいる。 【その他】 食堂事業が再開することで、より一層利用者のニーズに即したサービスの提供が見込まれる。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	31	評価	A

標準点	評価基準			
	S	A	B	C
24点	32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	地方公共団体のため、特段の問題なし
------------	-------------------

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害及び事故等の際、迅速かつ柔軟な対応が不可欠な地元関係機関との連携を効率的に行っている。 ・地域の資源及び人材を活用した体験サービス等を提供している。 ・安定した経営基盤による継続的な運用を行っている。
---------	---

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されてない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
<評価理由>			

令和元年度 奥多摩湖畔公園山のふるさと村 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る 2点 / 概ね水準どおり 1点 / 水準を下回る 0点			評価理由
					2点	1点	0点	
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか						
		施設維持及び案内等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・山のふるさと村安全管理点検マニュアルに沿って、園内の巡回、施設維持と安全管理の向上を図った。 ・園内の除草作業や各施設の日常清掃を適時実施するとともに、簡易な修繕を職員が直営で行った。 ・維持管理業務については、毎週実施するミーティングで各施設責任者が進捗状況を把握し、円滑に遂行した。
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置及び利用者の平等利用について、特に不適切な点はなかった。 	
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか						
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・火災発生を想定した消火や避難誘導等の自衛消防訓練を行い、日常点検等を実施することで職員の防災防火意識の向上に努めた。 ・気象情報は随時確認し、天候急変が見込まれる場合は園内放送により注意喚起を実施し、来園者の安全確保を図った。 ・突然の災害が起きた場合に対し、利用者及び職員の非常食料を保管し、災害時に備えた。
	緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・台風・降雪等による閉園の判断を早く行い、来園者への周知、宿泊予定者へのキャンセル対応を実施し、災害マニュアルに基づき連絡・対応等を行った。 ・道路通行状況、閉園情報等を早期にホームページに掲載し、Twitterを活用する等して利用者に情報提供を行った。 ・荒天時にはテント宿泊者に屋内避難場所を解放した。 	
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか						
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を含む資料は施錠可能なロッカー等で適正に管理した。 ・イベント終了後、申し込み書等の個人情報記録紙をシュレッダー処理することを徹底した。 ・漏えい等の事故はなし。
	環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法はじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・園内の希少種や外来種を考慮した植生管理計画を立て、植物相の特色の普及啓発や植生管理の保全に努めた。 ・各種法令を遵守して、管理運営を行った。 ・都への連絡報告は適宜行っており、適切であった。 	
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか						
収支・財産管理の状況		<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか。) ○適切な経理処理 <ul style="list-style-type: none"> ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○都有財産(物品など)の適切な管理 <ul style="list-style-type: none"> ・物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・総経費(160,555,898円)、必要経費(141,648,198円)は対計画額費101.7%、102.7%と適切であった。 ・経理処理及び都有財産管理において不適切な事項はなかった。 	

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る 2点 / 概ね水準どおり 1点 / 水準を下回る 0点			
					2点	1点	0点	評価理由
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。						
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	× 1			○	・利用者数・対前年度比については別紙のとおり。
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	× 1	○			・アンケート回収数・対前年度比については別紙のとおり。 ・各施設に要望箱を設置、利用者ニーズの把握と要望への対応を行った。 ・責任者ミーティングを毎週実施し、利用者要望・改善事項の共有とサービスの改善や向上を図った。	
	サービス内容の向上等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。						
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	× 2			○	・自然教室等イベントの企画数・実施数・参加者数・各対前年度比については別紙のとおり。 ・奥多摩の豊かな資源、地元の人材を生かした体験教室、宿泊施設併設の特性を生かしたプログラム等を実施した。 ・小河内漁業協同組合の協力のもと、夏休み期間中に「魚のつかみ取り」と「ヤマメとマスの塩焼き」の販売を実施。参加者2,064人(前年比129%)
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	× 1			○	・令和元年度:94.0%(有効回答400人中382人) 内訳:「とても満足」77.5%(296人) 「満足」20.9%(80人) 「やや不満」0.5%(2人) 「不満」1%(4人)
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	× 2			○	・オフシーズンにおける利用者数・対前年度比は別紙のとおり。 ・オフシーズン宿泊者に体験教室無料券、レストラン割引券を発行。 ・春まつり・秋まつりに続き、冬まつりを開催し、地元の特産物や伝統芸能の普及に努めた。 ・1~2月に氷のオブジェを設置した。 ・12月~2月の全日で宿泊料金の半額割引を実施した。 ・町民町内全域を対象に送迎バスを運行した。
			○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	× 2			○	・インターネットによるイベント受付、宿泊受付、予約状況の確認ができるようにし、利用者の利便性向上を図った。 ・利用促進を図るため、ケビン宿泊料金半額割引を休前日を除くオールシーズン(7.8月を除く)で実施した。 ・ゴールデンウィーク、夏休み期間中は、開園時間を30分延長した。 ・年間を通じてレストランを運営し、地元の食材を提供、宿泊者へのデリバリー、コンサートの開催など実施した。 ・山ふる利用者に予約で無料送迎バスを運行、土日祝日山ふる⇒奥多摩駅1便、春・秋・冬まつり期間中奥多摩駅⇒山ふる4便運行した。 ・パンフレットの多言語化を検討し、案内チラシを作成した。
		施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効率的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロー数、出張授業数など)	× 2			○	・山のふるさと村総合案内パンフレット、主催行事チラシを、関係機関に配布した。 ・過去のイベント参加者・宿泊者のうち事前了解のあった方に、ダイレクトメールによるイベント等のお知らせを送付した。 ・新聞、雑誌、テレビ等の取材対応13件、写真画像の貸出し18件を実施した。 ・ホームページのほか、新聞、アウトドア雑誌、ミニコミ誌、都及び町の広報等にイベントの情報を発信し、掲載を依頼した。

		地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び都の施策への協力	×2		○	・奥多摩町の山ふる音楽祭、森林セラピー事業、高齢者介護予防事業と連携し、施設の活用・利用促進を図った。 ・クラフトセンター自然食教室やイベント等の指導員として、専門的知識・技術を有する地元人材を活用した。 ・奥多摩体験の森、檜原都民の森、奥多摩ふれあい農園、水と緑のふれあい館等と連携し、合同イベント、広報活動を実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休園中の業務として、各施設と連携し、町外の学童保育所へ子どもが一人で扱えるクラフトキットの無償提供を行った。
			○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施	×2		○	・春まつり、秋まつり、冬まつりにおいて、地域の伝統芸能の披露、地元特産物の販売等を実施した。 ・自然食教室、イベント等において、地元産資源を利用した企画を地元生産者と協働して実施した。
		業務効率化の取組	○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等	×1		○	・職員自らが簡易な修繕、清掃等を実施するとともに、コピー用紙の再利用、常時節電等、引続き日頃から経費削減に努めている。 ・園内の施設も経年劣化のため修繕の必要な箇所が多く、職員自らが修繕を行うという意識の改革とコスト意識の向上を継続し、簡易な修繕や園内の倒木の処理を職員で行った。
		人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、・接客等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	×1		○	・職員接客待遇研修を実施した。

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」、「水準を下回る」(達成度:おおむね90%未満))。

※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。

※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評定を行う。

「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)

「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上)－1」点以下)

「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)＋1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点以下)

「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)

※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、

②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評定は「C」とする。

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・奥多摩の豊かな資源や地元の人材を生かしたイベントを開催した。特に、小河内漁業協同組合との協力で行った「魚のつかみ取り」イベントは多くの人が参加した。 ・オフシーズンの利用促進のため、氷のオブジェを設置したり、宿泊料金の割引等の取組を実施した。 ・コロナ禍での休園中も、町外の学童保育所へのクラフトキットの無償提供を行うなど、近隣施設との連携を図った。 ・アンケート回収数が増加しており、それによって得られたニーズを新たな取組に生かしてほしい。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	24	評価	B	標準点	評価基準			
					S	A	B	C
				24点	32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	地方公共団体のため、特段の問題なし
------------	-------------------

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害及び事故等の際、迅速かつ柔軟な対応が不可欠な地元関係機関との連携を効率的に行っている。 ・地域の資源及び人材を活用した体験サービス等を提供している。 ・安定した経営基盤による継続的な運用を行っている。
---------	---

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されていない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
<評価理由>			

令和元年度 奥多摩都民の森 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか						
		施設維持及び案内等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃(週1回以上)、園路内巡視点検(月1回)、施設保守点検(月1回以上)、警備等について、事業計画書に基づき適切に行った。 ・「安全管理点検マニュアル」を活用し、委託業者及び管理担当職員による施設周辺及び管内の点検を実施した。
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・業務上必要な配置数や配置箇所は適切であり、また地元で精通した職員を配置した。 ・年休や夏休の積極的な取得を呼び掛けた。 ・イベント参加者を抽選で選定する等、利用者の平等利用について、特に不適切な点はなかった。 	
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか						
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時マニュアル及び連絡体制を整備し、緊急時の体制を明確にし、運用している。 ・避難訓練は3月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。 ・イベント開始前には実地踏査を行い、イベント中も参加者の健康状態や疲労度に合わせ柔軟なイベント運営を行った。
	緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・天候情報や鉄道情報等の確認を徹底し、利用者への情報提供を行った。 ・イベント開催中に事故が発生したときには、応急処置を行い、迅速に対応した。 ・ハザードマップをHP及び施設にて配布し、通行止め等の情報を適宜発信し、事故を未然に防いだ。 	
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか						
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護条例等に基づき全職員に個人情報保護の遵守を促している。 ・個人情報の漏洩や個人データの紛失事故等の発生は無かった。 ・個人情報を持ち出す際には、情報を必要最低限にするとともに、イベント終了時に名簿等のシュレッダー処理を徹底するなど適切に管理を行っている。
	環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法をはじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・木質ペレットボイラーの利用や間伐材の薪を利用したストーブの使用等により、環境に配慮した。 ・施設管理に関わる法令の遵守の徹底を図った。 ・都への報告・連絡を適宜適切に行った。 	
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか						
収支・財産管理の状況		<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか。) ○適切な経理処理 <ul style="list-style-type: none"> ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○都有財産(物品など)の適切な管理 <ul style="list-style-type: none"> ・物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・総経費(73,323,472円)、必要経費(70,355,722円)は対計画額比96.9%、98.1%とおおむね適切であった。 ・奥多摩町の特別会計による経理の明確な区分及び帳簿・関係書類を整備、保存した(5年間)。 ・物品貸借契約書に基づき適正な報告を行った。 	

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			
					2点	1点	0点	評価理由
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。						
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1			○	・利用者数及び対前年度比は、別紙のとおり。 ・対前年度減であるが台風や新型コロナウイルス感染拡大防止に係る休園措置等による影響が大きい。
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1			○	・アンケート回収数、対前年度比については、別紙のとおり。 ・アンケート及びイベント参加者からの直接のヒアリングにより、即時対応可能なものについては迅速に改善するとともに、苦情対応については丁寧な説明、対応に努めた。 ・溪流釣りイベントにおいて、前年度アンケートに記載のあった道具作りの要望をイベントに組み入れる等利用者からの要望に応えた。	
	サービス内容の向上等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。						
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2			○	・自然教室等のイベント開催数、参加人数、それぞれの対前年度比は、別紙のとおり。 ・山里サイクリングや親子向けドローン教室等の新規イベントを企画し、利用者層の拡大を図った。
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1	○			・令和元年度:99.6%(有効回答760人中735人) 内訳:「とても満足」76.1%(559人) 「満足」23.5%(173人) (参考) ・平成30年度:99.4%(有効回答927人中832人) 内訳:「とても満足」84.3%(701人) 「満足」15.1%(126人)
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2			○	・オフシーズンの利用者数、対前年度比については、別紙のとおり。 ・雪山登山、正月行事など季節限定イベントや温泉やグルメをメインとしたイベントを実施し、集客を図った。
			○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	×2			○	・自炊用ログハウス、大型バーベキューコンロ等を備えるなど、宿泊利用者の利便性の向上に寄与するサービスを提供。 ・宿泊施設利用者に対する送迎サービスを実施した。
		施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効果的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロー数、出張授業数など)	×2	○			・奥多摩駅前観光案内所掲示板への案内の掲示、近隣の施設へのパンフレット配布のほか、ポランティア会員にも広報を依頼し集客を図った。 ・ドローンで撮影した映像を含む、宿泊施設等のPR動画を作成し、HPに公開した。 ・フェイスブックにて、イベントの様子を発信した。
			地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び部の施策への協力	×2	○		
		○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施		×2			○	・地域貢献にもつながる鎮守の森の整備や、わら細工による正月飾り作りや餅つき体験、竹細工作りを実施するなど地域行事を体験できるイベントを開催した。 ・キャニオニングや山里サイクリングをイベントに取り入れるなど地域産業の活性化に貢献した。
	業務効率化の取組	○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等	×1			○	・間伐材を有効活用するため、作業道の補修及び土留作業に用いるほか、薪割り体験を企画し、発生材を餅つきや暖房用の薪として活用した。	

		人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、接客等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	× 1		○		・環境局実施の指定管理者向け研修を受講する等ノウハウの習得に努めた。
--	--	------	--	-----	--	---	--	------------------------------------

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」、「水準を下回る」(達成度:おおむね90%未満))。
 ※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。
 ※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評定を行う。
 「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)
 「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上) - 1」点以下)
 「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨) + 1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上) - 1」点以下)
 「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)
 ※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、
 ②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評定は「C」とする。

特記事項	【特に評価すべき点や、特筆すべき成果(「S」評価の場合は必ず記入)】 ・女性参加者からも希望が多い、気軽に参加できる温泉・グルメ・ハイキング・散策などのイベントの実施に当たり、地域資源を最大限活用し、内容充実力を入れて取り組んでいた。 【努力が認められる点】 ・ドローンに着目し、山間部ならではの新たな試みを行うとともに、施設のPRIにも活用した。 【一層の取組が望まれる点】 ・施設の認知度を向上させるとともに、利用者の増加を図っていただきたい。特に、食事の提供が10人以上でないため実施できないため、対策を検討されたい。 【その他】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイベント休止・休園措置があり、利用者数・イベント実施回数は減となった。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	26	評価	B						
				標準点	評価基準				
					S	A	B	C	
				24点	32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下	

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	地方公共団体のため、特段の問題なし
------------	-------------------

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	・自然災害及び事故等の際、迅速かつ柔軟な対応が不可欠な地元関係機関との連携を効率的に行っている。 ・地域の資源及び人材を活用した体験サービス等を提供している。 ・安定した経営基盤による継続的な運用を行っている。
---------	---

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されてない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
	<評価理由>		

令和元年度 東京都立多幸湾公園 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点／概ね水準どおり1点／水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか						
		施設維持及び案内等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃及び保守点検についておおむね計画通りに行った。アンケートを分析し、オンシーズンの団体規制や利用人数の制限を行い利用者の意見を反映させた。 ・ネット予約がしにくいとの要望に対し、予約システムを変更した。
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1		○		不適切な点はなかった。	
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか						
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を四半期に一度実施。災害時緊急連絡表を作成し村役場、東京都等に報告、応援要請等を早急に行えるようにした。 ・救命技能を習得する為、キャンプ場の防災訓練や消防団の訓練等に参加した。
	緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時対応マニュアルを作成し、緊急時の体制を整えた。 ・役場や地元警察、消防等関係機関との連携を構築し速やかに情報共有ができるようにした。 	
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか						
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・東京都個人情報の保護に関する条例に従い個人情報を適切に扱った。 ・情報の漏洩や紛失等の事故は発生していない。
	環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法はじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・売店で販売している洗剤を環境に優しいものに変更した。 	
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか						
収支・財産管理の状況		<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか。) ○適切な経理処理 <ul style="list-style-type: none"> ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○都有財産(物品など)の適切な管理 <ul style="list-style-type: none"> ・物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ■総経費(28,093,054円) 対計画額比 93% ■必要経費(24,407,804円) 対計画額比 96.6% おおむね適切である。経理処理及び都有財産管理において不適切な事項はなかった。	

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。						
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1			○	・利用者数・対前年度比については別紙のとおり。 ・台風や新型コロナウイルスに起因するものでありやむを得ない減少である。
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1			○	・アンケート回収枚数・対前年度比については別紙のとおり。 ・アンケート及び直接の声掛けにより利用者ニーズの把握に努めた。アンケート回収時にノベルティを渡すことで回収率向上に努めた。	
	サービス内容の向上等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。						
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2			○	・自然教室等イベントの企画数・実施数・参加者数・対前年度比については別紙のとおり。 ・商工会や観光協会等の団体と協力し、地域の特性を活かした自然教室を開催するとともに、島外者対象の教室については参加費の一部補助を行い参加人数の増加を図った。 ・自然教室では、地元の郷土料理を作り、神津島に昔から伝わる伝説の講話や、方言口座等を実施し、地域に根ざした昔からの伝統を子供たちに伝えた。
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1	○			・99%(回答人数計361人) 内訳:「とても満足」・・・290人 80% 「満足」・・・70人 19%
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2			○	・オフシーズンの利用者数・対前年度比については別紙のとおり。 ・オフシーズン時のデッキェント利用料半額を実施。地元の情報誌や自主放送を活用し、島内在住者の利用も促進したが、利用人数は減少した。原因として台風やコロナウィルスまん延の影響があったと推測でき、やむを得ない減少である。
			○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	×2	○			・外国人観光客の増加に伴い、自動翻訳機の使用や島内の英語教室講師に研修を依頼し、職員の能力向上に努める等、ニーズに応える努力をした。 ・ネット予約が1日単位でしか出来ないことから、不便との声を受け、予約システムを日本最大級キャンプ場検索・予約サイトに変更した。 ・島の詳細マップを配布することにより、案内の効率化を図った。
		施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効率的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロワー数、出張授業数など)	×2			○	・インターネット、広報、雑誌等を活用し宣伝した。 ・東海汽船のパンフレットにキャンプ場の情報を掲載した。 ・都内でイベントが行われる際にキャンプ場のパンフレットの配布を行った。 ・島内在住者の利用も促進するため、地元の情報誌「広報こうづ」や神津島村の自主放送テレビ「文字放送」にも情報を掲載した。
		地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び都の施策への協力	×2			○	・船の出航に合わせ、神津島村と連携し臨時バスを運行した。 ・東海汽船とコラボし、キャンプツアーを実施。天上山登山、明日葉摘み、温泉、島グルメ、星空観察を行った。
			○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施	×2			○	・ダイビング協会と連携し、シュノーケリングイベントを開催した。 ・観光協会等と連携し、地元のものを使った料理教室等を開催した。
	業務効率化の取組	○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等	×1			○	・施設の修繕に廃材を利用し費用の削減を図った。ソーラー発電の活用により光熱水費の節減に努めた。各海水浴場の遊泳状況を掲示し案内の効率化を図った。	

		人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、・接客等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	×1		○	・電話対応マニュアル、接客接客マニュアル等に基づき、利用者の立場に立った接客を行った。必要に応じてマニュアルを更新し、接客レベルの向上に努めた。 ・外国人観光客への対応力向上のため、島内の英語教室講師に依頼し研修会を行い、職員の能力向上に努めた。
--	--	------	---	----	--	---	--

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」、「水準を下回る」(達成度:おおむね90%未満))。

※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。

※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評定を行う。

「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)

「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上)－1」点以下)

「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点以下)

「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)

※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、

②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評定は「C」とする。

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・大手キャンプ場予約サイトでのネット予約に対応し、1日単位でしか予約ができないという課題を解決し、利便性が向上した。 ・職員の自動翻訳機の使用や英語研修の実施など、増加するインバウンドへの対応を積極的に行っている。 ・地元の郷土料理作成や伝説の講和など、地元根ざしたイベントを実施し、実施回数も前年より増加した。 ・利用人数の制限や台風の影響などもあって利用者数が落ち込んだ。より島内の利用者を増やすなどの取組が必要。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	26	評価	B	標準点	評価基準			
				24点	S	A	B	C
				32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下	

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	地方公共団体のため、特段の問題なし
------------	-------------------

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害及び事故等の際、迅速かつ柔軟な対応が不可欠な地元関係機関との連携を効率的に行っている。 ・地域の資源及び人材を活用した体験サービス等を提供している。 ・安定した経営基盤による継続的な運用を行っている。
---------	---

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されてない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
	<評価理由>		

令和元年度 高尾ビジターセンター 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			
					2点	1点	0点	評価理由
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか 施設維持及び案内等に関する取組	○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示	×1		○		・日常業務を明文化した各種マニュアルによる作業チェックリストを活用し、漏れのないよう遂行した。清掃チェックリストは改訂し、さらなる業務の効率化を図った。 ・混雑期や閑散期など、利用者数の推移に合わせて、従事する清掃員を増員するなどして適切な維持管理に努めた。 ・館内やトイレは閉館後や清掃時に、園内は朝に行う巡視の際に劣化損傷の点検を実施し、早期発見・対応に努めた。 ・施設の清掃、保守点検については、閉館日は毎日実施した。
		適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定)	×1		○		・計画に基づき、自然学習に関する知識・経験が豊富な職員を配置した。 ・勤務時間を柔軟に設定することや看護休暇等の導入、勤怠管理による長時間労働の削減により、適切な人材を確保した。 ・利用者の平等利用について、特に不適切な点はなかった。
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか 防災・防犯への配慮	○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備	×1		○		・倒木、凍結・積雪状況や混雑状況など利用者の安全に係る情報を、窓口・ホームページ・SNSで提供した。 ・関連機関と連携し、台風後、積雪後の利用者対応について、情報交換と安全確保作業等を行った。 ・火災避難訓練及び安全管理研修を実施し、及び応急手当普及員講座を受講し、防災知識と技術の取得並びに意識向上に努めた。
		緊急時対策	○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供	×1		○		・緊急時の備えとして「安全管理マニュアル」「緊急連絡網」等を改訂し、運用した。 ・倒木や土砂崩れの際には、関係各所と情報を共有し、ホームページとSNSで利用者に迅速な発信を行った。 また屋外放送や表示を設置するなど、天候に関する注意喚起を行った。
法令等の遵守	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか 個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施	×1		○		・情報セキュリティ担当者を設置し、異常時や不具合時の早急な対応にあたった。 ・月初めにパスワードを変更し、活用するメールアドレスのチェックを毎日行い、不具合や異常がないか確認を行った。 ・社内でのサーバーセキュリティインシデント対応研修を実施後、情報セキュリティマニュアルを作成した。
		環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法をはじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡	×1		○		・希少植物について、解説員による自然研究路調査や山内利用者等から寄せられる情報を積極的に収集し、都レンジャーと共有した。 ・希少植物の情報を整理し、大見晴園地及び5号路のリストアップを行った。 ・都への報告・連絡を適宜行っており、適切であった。 ・ISO14001認証取得に基づき、年間の重点取組事項を決定するとともに、業務効率化のシステムに従い業務を進めた。
適切な財務・財産管理	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか 収支・財産管理の状況	○収支状況(安定的な運営がなされているか) ○適切な経理処理 ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○所有財産(物品など)の適切な管理 ・物品整理簿の整備・不適合品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間)	×1		○		・総経費(39,650,000円)は対計画額比100%と適切であった。 ・物販の収支については、オリジナル商品を展開したことにより、収入額(2,236,738円)対計画額比239.5%と好評であった。 ・経理処理及び所有財産管理において不適切な事項はなかった。

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			
					2点	1点	0点	評価理由
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。						
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1		○		・利用者数、対前年度比は、別紙のとおり。
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1		○		・アンケート回収数、対前年度比については、別紙のとおり。 ・要望等については、関係機関にも情報提供するなどし、適正に対応している。 ・要望のあった新規展示を制作し、利用者が自由に利用できるよう図鑑や書籍を設置した。また、窓口に気温を聞かれることが多いため、入口に温度計を設置した。	
	サービス内容の向上等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。						
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2		○		・自然教室等イベントの開催数、参加人数、それぞれの対前年度比については、別紙のとおり。 ・ガイドウォークやレクチャーなど4つのプログラムを毎日実施した。ワークショップではリーダーも楽しめるよう2点の新規プログラムを開発し、延べ11,488人に対応した。
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1		○		・令和元年度:98.5%(有効回答386人中324人) 内訳:「とても満足」47.5%(154人) 「満足」50.9%(165人) 「やや不満」1.2%(4人) 「不満」0.3%(1人)
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2			○	・オフシーズンにおける利用者数と対前年度比に関しては、別紙のとおり。 ・ワークショップやガイドウォークを、冬の自然や動物を内容としたプログラムで実施した。
			○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	×2			○	・毎月登山道調査を実施し、年間106回の調査活動を行った。問い合わせの多い自然情報(開花植物、紅葉など)は、積極的に収集し、最新の情報把握に努めた。 ・ニュースレター「のぶすま」を年4回発行し、6,618枚配布した。イラストを多用し親しみやすい紙面を心掛け、季節ごとの高尾山の自然並びに文献や資料を基に歴史及び文化について解説した。 ・自然への親しみや理解の深まりを意識できるきっかけとなるデザインオリジナル商品新たに2点開発した。 また、高尾山の植物図鑑や野鳥図書なども販売し自然への関心を深めることができた。 ・ホームページ内に「高尾・陣場地区自然公園利用ルール」のページを新たに作成し、周知に寄与した。 ・海外利用者から多く寄せられる質問について、新たに指差し案内表示を作成し、窓口に設置した。 ・ハンズオン展示を2点、展示拡充のため標本展示を3点製作した。
	施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効果的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロワー数、出張授業数など)	×2			○	・ホームページの自然情報は山内調査実施毎に、ツイッターは開館日は毎日更新した。Twitterフォロワー数は4022人と、昨年より2445人増加し、HP閲覧数も107,851回から292,441回と大幅に増加した。 ・昭島のモリパークアウトドアヴィレッジに出張センターを出展し、情報提供など啓発を行った。 ・パンフレットを増刷し、新たな配布先を増やすなど都心からの来館を働きかけた。 ・大手登山情報サイト「ヤマケイオンライン」に週1回程度、イベント情報や自然情報、気温、季節の注意事項などを情報提供し、施設の広報に努めた。	

		地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び都の施策への協力	×2	○	<ul style="list-style-type: none"> ・高尾599ミュージアム連絡協議会、地域連絡協議会、高尾山観光連絡会、高尾地区自然公園管理運営協議会等へ参加し、各関係団体と情報交換を行った。 ・東京都の「ツボウソウ復活プロジェクト」へ協力し、モニタリング検討会で調査の実施に提言を行い、展示やワークショップを展開した。 ・高尾駅周辺の商業施設「ias高尾」の飲食店にニュースレターの掲示を行ったり、同施設内の「石井スポーツ」でもTwitterの投稿を紹介したりするなど、近隣住民への広報の場を設けた。 ・多摩森林学園と自然教室を共催し、専門性の高いものを提供した。
			○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施	×2	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域関係機関による高尾陣場特別警戒連絡会に協力し、年末年始の初日の出見学や薬王院二年詣を目的とした利用者の安全を確保した。
		業務効率化の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等 	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から業務のねらいや作業内容を記載した業務分担表を作成した。これにより、職員それぞれが担当する業務区分が明確になり作業の効率化を図ることができた。
		人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、・接遇等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・解説技術向上のため、インタープリテーション研修を行った。また、各職員が力量評価シートを作成し、業務における目標を設定し、教育訓練計画を策定した。 ・安全管理者講習、救命講習を受講するなど、安全性の向上に反映させた。

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」、「水準を下回る」(達成度:おおむね90%未満))。
 ※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。
 ※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評価を行う。
 「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)
 「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上)－1」点以下)
 「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)＋1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点以下)
 「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)
 ※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、
 ②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評価は「C」とする。

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣商業施設との新たな連携により、近隣住民に対する広報の場を設けるなど、様々な対象に向けてアプローチを行っている。 ・自然教室開催数、参加者数が大幅に増加しており、新たに他施設と連携したイベントも行うなど、より質の高いイベントの開催を行っている。 ・利用者が自由に使える図鑑・書籍コーナーを設置したり、気温を知るために温度計を設置するなど、利用者から要望の多かった事項について対応するなど、ニーズ把握への取組が見られた。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	30	評価	A	標準点	評価基準			
				24点	S	A	B	C
					32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	「決算報告書(第30期)」の財務分析から、事業の遂行能力、適応能力、財務体質の健全性について大きな問題があるとは認められない。
------------	---

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	
---------	--

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されていない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
	<評価理由>		

令和元年度 御岳ビジターセンター 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由	
					2点	1点	0点		
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか							
		施設維持及び案内等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃及び保守点検を計画どおり適切に行った。(清掃は休館日を除き実施、保守点検は月1回以上実施。) ・経年劣化に伴うトイレ故障等を確認した際、東京都に対して現況を随時報告すると共に、軽微な破損は職員が応急的に対応するなど適切な対応を行った。 	
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・業務経験者や地域在住者を配置することにより、施設管理業者や地域に対しての円滑かつ迅速な対応、事業効率化等を実現した。 ・業務計画策定と役割分担推進による業務効率化に取り組むと共に勤怠管理システムによる勤務時間の管理を徹底し、長時間労働の削減と全職員の有給休暇取得を促進した。 ・利用者の平等利用について、特に不適切な点は見受けられなかった。 		
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか							
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理マニュアル、緊急連絡網等を策定し、運用した。 ・拠点内に配属した安全管理担当者が社内の安全管理部門と連携し、ハチ割され対策等をテーマにした研修会への参加や安全管理通信の配信等を通じて、職員間の安全管理に対する知識習得や意識向上を徹底した。 ・消防署、御岳山消防団による自衛防火訓練や武蔵御嶽神社との合同放水訓練を行った。 	
		緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害及び事故による被害はなかった。 ・山岳事故や怪我人が発生した際には、事故現場及び来訪者・来館者情報の把握に努めると共に、事故状況はスタッフ間で共有することで、来館者へ注意喚起を行った。 ・収集した情報は、東京都レンジャーや地元消防団等へ報告し、情報を共有した。 ・台風19号通過後にHP、SNSの閲覧数が増えたことから、更新回数を週2回程度から随時更新に変更するなどし、積極的な情報提供に努めた。 	
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか							
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報管理ガイドラインに基づき個人情報管理を徹底すると共にPCやソフトウェア、メール、パスワード等、各種管理も徹底し、セキュリティ強化に取り組んだ。 ・サイバーセキュリティ研修に参加し、同テーマで社会研修を行った。 	
	適切な財務・財産管理	収支・財産管理の状況	環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施						
			<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法をはじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・電力会社変更による約30%のCO2排出削減を行い、施設のエネルギー消費量の削減に努めた。 ・希少種であるレンゲシヨウマ保全のため御岳山観光協会及び御岳登山鉄道と連携して防獣柵の扉閉を実施し、ニホンジカの食害を防いだ。 ・各種法令を遵守して、管理運営を行った。 ・都への報告・連絡を適宜適切に行った。 	
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか								
	収支・財産管理の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか。) ○適切な経理処理 <ul style="list-style-type: none"> ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○所有財産(物品など)の適切な管理 <ul style="list-style-type: none"> ・物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・総経費(22,767,000円)は、対計画額費100%とおおむね適切であった。 ・経理処理及び所有財産管理において不適切な事項はなかった。 		

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
事業 効果	利用の 状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。						
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1			○	・利用者数・対前年度比は別紙のとおり。
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1			○	・令和元年度アンケート回収数については別紙のとおり。 ・利用者から寄せられたハチ刺され等に対する応急処置や道迷い等への対応は19件行い、全て要望に応えた。	
	サービス 内容の向上 等	事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか。						
		質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2			○	・自然教室等イベント実績は別紙のとおり。 ・人の暮らしと自然の関わりをテーマにした「井戸のオタマジャクシ」等の体験的に学べるハンズオン展示を4点作成した。 ・「出張ガイドウォーク」は延べ1,136件、3,674人(30年度延べ623件、2082人対前年度比176%)
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1			○	・令和元年度:98.8%(有効回答181人中162人) 内訳:「とても満足」60.5%(98人) 「満足」38.3%(62人) 「やや不満」1.2%(2人)
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2			○	・オフシーズンにおける利用者実績は別紙のとおり。 ・JRと連携し、冊子「五日市沿線の旅」に冬の御岳山特集を組んでもらうようアプローチを行い、オフシーズンのPRを行った。 ・閑散期において、あえて自然教室の開催や連携イベントの実施、野外展示の更新、HPやSNSの定期的な情報発信等に取り組むことで、施設利用促進に繋がった。 ・来訪者の少ない12月の閑散期には、夜景観賞と早朝野鳥観察をテーマにしたイベントを開催した。
			○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	×2			○	・インバウンド対応として、館内及び野外にトイレのピクトサインの表記、英語地図や解説パネルを用いてのコース案内や自然解説、観光案内を実施した。 また、都主催の英語研修に参加し、研修結果を職員間で共有しスキルアップにつなげた。 ・レンゲショウマの開花株数や紅葉状況等、問い合わせの多い情報に関しては、積極的に調査を行い、最新の情報を収集した。 ・台風通過後や降雪後には、山内を巡視することで、利用者の安全に関わる登山道状況を把握した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館中は、野外に地図配布コーナーや開花植物の情報パネルを設置することで、対面しない無人展示として来訪者に情報提供した。
		施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効率的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロワー数、出張授業数など)	×2			○	・アクセス解析によるユーザーの把握を通じて、登山道情報ページの拡充やHP及びSNSの連動した情報発信、発信回数の強化に取り組んだ。 ・HPアクセス数 139,659件(30年度72,483対前年度比193%) ・調査で収集した自然情報(開花植物や紅葉)や登山道情報(倒木・増水・積雪)は定期的にホームページで発信した。 ・自然公園施設、都内教育施設、都内登山用品店、複合商業施設と連携した広報を展開し、エリア拡大と機会拡充を通じて、広報強化に注力した。
		地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び都の施策への協力	×2			○	・東京都レンジャーとの連携により、安全登山の普及啓発を目的としたイベントを開催した。 ・青梅市観光協会や御岳登山鉄道、御岳山観光協会等と、御岳山の自然情報や登山道状況を共有した。 ・御岳山観光協会と連携し、ビーコンを用いてスマートフォンを多言語対応のデジタルサイネージ化し、来訪者を施設入館へと繋げる取組を行った。

			○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施	× 2		○	・御岳山の宿坊及び御岳観光協会との共催による宿泊イベントを5回実施し、申込者121人、参加者101人であった。
		業務効率化の取組	○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等	× 1		○	・計画に基づき適切に行った。 ・入館者推移や業務内容を踏まえた人員配置を行い、業務効率化に取り組んだ。
		人材育成	○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、・接客等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上)	× 1		○	・技術能力向上のための職員研修を多岐にわたるテーマで17回実施した。 ・質の高い施設管理運営の手法に関する研修、安全管理研修、解説及び環境教育の手法に関するものなどスキル向上の研修を実施し、専門性の向上に努めた。

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」、「水準を下回る」(達成度:おおむね90%未満))。
 ※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。
 ※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評定を行う。
 「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)
 「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上)－1」点以下)
 「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点以下)
 「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)
 ※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、
 ②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評定は「C」とする。

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・JRと連携し冬の御岳山の特集を組む、閑散期にイベントを開催する等、オフシーズンの利用者促進に取り組み、オフシーズンの参加者数が前年と比較し増加した。 ・アクセス解析によりユーザーを把握し、それに応じた登山情報ページの拡充やSNSでの情報発信を行うなど、広報活動に力を入れている。 ・館内やトイレへビクトサインの表記をしたり、職員を英語研修へ参加させたりするなど、インバウンドを意識した取組を積極的に行っている。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	30	評価	A
-----	----	----	---

標準点	評価基準			
	S	A	B	C
24点	32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	「決算報告書(第30期)」の財務分析から、事業の遂行能力、適応能力、財務体質の健全性について大きな問題があるとは認められない。
------------	---

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	
---------	--

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されていない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
<評価理由>			

令和元年度 東京都御岳インフォメーションセンター 一次評価シート

様式1

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由
					2点	1点	0点	
管理状況	適切な管理の履行	協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか						
		施設維持及び案内等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者の快適かつ安全な利用を図る適正な維持管理及び必要に応じた保守点検 ・施設の清掃(週1回以上) ・施設・設備の保守点検(月1回以上) ○施設の補修修繕の積極的な取組 ○利用者目線に立った案内・表示 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃及び保守点検を計画どおり適切に行なった。 ・職員が日頃から施設に異常がないか注意を払い、故障・修理の未然防止を心がけ、軽微な修繕については職員自ら対応を行った。 ・台風前の効果的な時期に雨どい・外壁・側溝清掃などの作業を実施することで被害を未然に防止した。
	適切な人員配置、ワークライフバランスへの配慮、公平な利用機会確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> ○配置数、配置箇所、専門性、多言語対応等を考慮した適切な人員配置 ○ワークライフバランスへの取組や多様な働き方への配慮 ○利用者の平等利用への適切な取組(公平な利用者選定) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づき、英会話可能な青梅市在住の人材を配置した。 ・利用者の平等利用について、特に不適切な点は見受けられなかった。 	
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか						
		防災・防犯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故に備えた利用者の安全性の確保 ・避難訓練等の実施(年1回以上) ・連絡体制の整備 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・都レンジャーと連絡を密にするとともに情報機器も活用して、台風接近や白丸ダムの放流、クマ出没等の情報をリアルタイムに提供した。 ・災害発生時緊急対策マニュアルを作成して、緊急時の利用者の安全確保など職員の意思統一を図った。 ・御岳山での迷子、遊歩道の破損などは、随時、交番、多摩環境事務所等に連絡・情報共有を行い、指示を仰ぐ等、早急な対応に努めた。
	緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害や事故の発生時における的確で速やかな対応、利用者の安全確保 ・発生時の迅速な対応、施設の点検・報告の実施 ・積極的な情報収集とSNS、HP、電話対応等による情報提供 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号の被害に際して、御岳山・御岳渓谷等の破損状況を迅速に把握し、施設内に張り紙をするとともに来訪者には口頭で安全対策を周知・徹底した。 ・毎月1回、御岳交流センターと合同で研修を実施し、防災意識を醸成して、緊急対策について再確認を行った。 	
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか						
		個人情報保護・情報公開の取組、情報管理、及び情報事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報保護・情報公開(内部規程の策定、研修等)の適正な取組 ○個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生状況 ○事故等が起きた際の対応や都への報告の適正な実施 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・案内業務が主であるため、不必要な個人情報を収集・記録しないよう努め、メール等の送付についても情報セキュリティの強化を図った。
	環境配慮等への取組、法令遵守、都への適切な報告・連絡の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、気候危機、3R、生物多様性保全など持続可能性への対応や環境配慮行動の実施 ○自然公園法はじめ各種法令等の理解と遵守 ○都への適切な報告・連絡 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の研修を通じて、職員自ら自然環境保全の取組に対応できるよう自己研鑽に努めた。 ・各種法令を順守して自然公園利用者はもちろんのこと、周辺住民からも公益性の高い施設として信頼されるよう努めた。 ・都への報告・連絡を適宜適切に行なった。 	
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか						
収支・財産管理の状況		<ul style="list-style-type: none"> ○収支状況(安定的な運営がなされているか) ○適切な経理処理 ・経理の明確な区分 ・帳簿、関係書類による経理状況の明確化 ○都有財産(物品など)の適切な管理 ・物品整理簿の整備・不適格品、亡失品等の報告 ○帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間) 	×1		○		<ul style="list-style-type: none"> ・総経費(3,837,400円)は対計画額費99.7%とおおむね適切であった。 ・経理処理及び都有財産管理において不適切な事項はなかった。 	

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点				
					2点	1点	0点	評価理由	
事業 効果	利用の 状況	事業計画どおりの利用状況となっているか。							
		利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)の動向	○利用者数(人数、対前年度比%)	×1			○	・利用者数・対前年度比については別紙のとおり。	
	利用者ニーズの把握への取組	○利用者要望・苦情等の適正な把握と共有 ○アンケート回収枚数向上のための取組(アンケート回収枚数、対前年度比%) ○利用者要望等への適切な対応(掲示、改善等)	×1	○				・アンケート回収数・対前年度比については別紙のとおり。 ・顧客満足度アンケート収納箱を設置し、情報収集を実施するとともに、ハイキングコース等の紹介のなかで、窓口において利用者ニーズの把握に努めた。 ・青梅市観光協会HP等に寄せられた苦情等はなかった。	
	サービス 内容の向上 等	質の高いサービス提供への取組	○施設の特性及び利用者のニーズに応じた各種イベントの積極的な実施 ・自然教室等イベント企画数、実施回数、参加人数(前年度数、対前年度比%) ・電話・窓口対応等の回数(前年度数、対前年度比%)等	×2			○	・利用者の多いシーズンのニーズに応え、開館時間を延長し、窓口サービスの向上を図った。 ・関東ふれあいの道、登山道のコース紹介、踏破証の発行など、一層のサービス向上に努めた。 ・御岳エリアの3か国語対応パンフレットや奥多摩地区の外国人向けパンフレットなどを配布して、訪日外国人に対するおもてなしに努めた。	
			○満足度調査の結果(「とても満足」又は「満足」の合計が80%以上)	×1	○			95.5%(有効回答67人) 内訳: とても満足44人 満足20人	
			○オフシーズン利用促進のための積極的な取組	×2				○	・特になし。
			○その他、積極的な独自のサービス提供(多様な利用者、外国人利用者等への配慮を含む)。	×2				○	・JR御嶽駅から自然公園を利用する方の利便性の向上を図るため、大型コインロッカー、AED付清涼飲料水自動販売機を引き続き運用した。 ・自主事業として、星空観察会、植物観察会、野鳥観察会及び美術館3館巡りを開催した。
		施設の広報に関する取組	○地域内外での広報、PR等の効率的・効果的な実施(HPの訪問者数、SNSのフォロワー数、出張授業数など)	×2				○	・自主事業等について当協会のホームページに掲載するとともに青梅市広報への掲載も依頼し集客した。 ・御岳山・奥多摩町・青梅市の各観光協会が連携した紅葉協定について、のぼり旗設置やパンフレット配布等で協力した。 ・地元紙「街ブレ」、「西多摩新聞」、「西の風」への自主事業等の掲載依頼を行った。 ・当観光協会の機関誌(年1回)で施設紹介を行った。
		地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	○地域の人材や団体、近隣施設との連携及び都の施策への協力	×2				○	・御岳ビジターセンターや東京都レンジャーとの情報交換はもとより、台風19号被害状況、関連イベント等について館内でPRを実施した。 ・レンゲショウマの開花状況など、ビジターセンターと連絡を密にして、登山者に自然に関する情報提供を行った。 ・地元観光協会(御岳観光協会、御岳山観光協会)のみたけ秋色まつり、天空もみじまつり等のイベントを積極的に紹介した。
	○地域の産業及び文化並びに地元行事等を生かした施設運営の計画と実施		×2				○	・NPO法人青梅林業研究グループと連携した間伐材を利用した入浴木や柚子加工品、地酒、織物、チーズ、ブルーベリーなどの販売を実施した。 ・ミュージアムやフィッシングセンター、カヌー・ラフティング事業者等の一覧表を作成して施設内に明示して、観光事業施設の紹介を行った。 ・武蔵御岳神社の伝統行事、高水山の獅子舞などの資料展示を行った。 ・地酒の蔵開きや紅葉、新緑の情報、地域の暮らしぶり、季節の歳時記となる情報の展示を行った。 ・郷土の風景(御岳登山鉄道の「ちぎり絵」)の作品展示を行った。	

		業務効率化の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○経費削減の努力 ○業務上の効率化への工夫や改善等 	× 1		○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づき適切に行った。 ・清掃業務は職員自身で実施し、委託業務の削減を行った。 ・冬季は、エアコン以外に補助暖房用としてファンヒーターなどを利用して空調の効率化に努めた。
		人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○従業員の人材育成のための取組(専門性向上、接客等利用者サービスや満足度の向上のための研修、自己啓発支援等)の積極的な実施(研修年1回以上) 	× 1		○	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の研修を通じて、職員自ら自然環境保全の取組みに対応できるよう自己研鑽に努めた。

※確認項目の評価は3段階で行う(「水準を上回る」(達成度:おおむね110%以上)、「水準どおり」(達成度:おおむね90%未満))。
 ※評価理由欄には、評価項目の総評及び評価の根拠となった事項等を具体的に記述する。
 ※一次評価は、全確認項目において「水準どおり」の評価を受けた場合の合計点を「標準点」として、各確認項目の得点の合計点に基づき、次の4段階で評定を行う。
 「S」:管理運営が優良であり、特筆すべき実績又は成果が認められた施設(「標準点の1.33倍(小数点以下切上)」点以上)
 「A」:管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設(「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上かつ「標準点の1.33倍(小数点以下切上) - 1」点以下)
 「B」:管理運営が良好であった施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨) + 1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上) - 1」点以下)
 「C」:管理運営の一部において、良好でない点が認められた施設(「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下)
 ※各確認項目の評価の合計点にかかわらず、指定管理者の責に帰すべき事由により、①利用者等の生命・身体・財産に重大な損害が生じた場合、
 ②施設運営に関連して法令・協定等に関する違反があった場合又は③その他公の施設の設置者としての都の信頼を損ねた場合は、評定は「C」とする。

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度は少なかったアンケート回収数が大幅に増え、利用者のニーズ把握に努めている。 ・台風19号の発生時には、都レンジャーや御岳ビジターセンター等との積極的な情報交換を行い、登山道の安全に関する情報を周知するなど、利用者の安全確保に積極的な姿勢が見られた。 ・昨年よりアンケートの回収数は増えたが、より回収数を増やすための工夫が必要。
要改善事項等	

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	23	評価	B
-----	----	----	---

標準点	評価基準			
	S	A	B	C
24点	32点以上	30点以上 31点以下	22点以上 29点以下	21点以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	収入の約半分を補助金に依存しており、収入は安定しているものの事業の遂行能力、適応能力、財務体質の健全性については懸念がある。今後は管理業務のより一層の効率化が求められる。
------------	---

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記述してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、以下に示す(1)または(2)のとおり、特命要件の継続状況について検証してください。

(1) 特命により指定管理者を選定した施設について

特命により指定管理者を選定している場合、特命要件を挙げ、各要件の継続状況について確認してください。

特命要件の継続	
---------	--

(2) 東京都政策連携団体を特命により選定した施設について

選定時の特命要件の継続について、施設の位置づけや役割等を再検証のうえ、以下の項目を参考として各施設に相応しい項目を設定し、検証してください。

特命要件の継続	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されてない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
<評価理由>			